

# なぜ挫折するのか

## 楽器ビギナーは

きりばやしひろき  
[楽器挫折者救済会・主宰、叫ぶ詩人の会・音楽プロデューサー]

### その28・初年度の大きな分岐点

【プロフィール】  
1971年生まれ、18歳からプロドラマーとして活動。1994年「叫ぶ詩人の会」でメジャーデビュー、ドラム、ギター、キーボード、プログラミング、作曲、編曲を担当。並行してラジオパーソナリティ、TV番組レギュラー出演、CM出演など幅広く活動。2003年に立ち上げた「Q-sai@楽器挫折者救済会（旅行企画・実施：株式会社日本旅行）」は記録的な開催数を誇り、これまでに延べ数千人が参加。NHK・Eテレ「あなたもアーティスト 挫折者救済！きりばやしひろきのギター塾」出演＆監修をはじめ各種メディアを通じての取り組み、執筆、講演、ビギナーを救う製品の開発など様々なスタイルで「楽器挫折者」と向き合い続ける。著書に『大人のための3日間楽器演奏入門（講談社／日本図書館協会・第2540回選定図書）』などがある。



イブユーザーで在り続けることの価値はバランスシートでは測れない。

#### 称えぬも親切

良いことばかりでもない。敷居が低いあまり、ターゲットイングした覚えのない習熟層も必ず混じってくる。勿論、良い影響を持ち込んでくれるのなら誰だろうが大歓迎なのだが、なまじ経験があることで手を抜いたり、普段やり慣れている何かをチャチャッと見繕う程度でカンペ抱えて出てきては平気でミスったりする。

この手の現場ではとくに悪目立ちする。伸び代だらけなのに成長する気ゼロ病。患者たちである。ビギナーは良くも悪くも人や環境から影響を受けやすい。ナメた空気は伝染しやすいので、時には見えない鞭で引つ叩いて空気を整えることもある。昭和の「腐ったみかん」的思考で不適切だと揶揄されそうだが、真剣に取り組むビギナーがモティベートされなければ催しとして本末転倒。幸い参加者らとの利害関係が薄いので、必要な愛の鞭が振り下ろしやすい。

ビギナーのために採算度外視で開催する現場がある。直近では「素人だらけの300秒ギター大会」という名の、昭和の人間なら水着だらけのアレを連想しそうな、しかし全くだがわしくない、小学生も参加できる健全な音楽イベントをTOKYOハンドクラフトギターフェスの初日にセットした。水着ならともかく楽器に関する素人だらけにつき、何万歩譲っても観客からお金をいただくに値する見せ物には成り得ないので、来場者は入場無料、出場者からは経費程度をいただくのみ。まるで採算は合わないが、放っておけば消えていたであろうビギナーがアクテ

我が国には「参加することに意義がある」の美学で内容に関わらず闇雲に

称え合う風潮があるが、この類の現場に限ってはその空気を作らぬよう努めている。真剣に取り組むビギナーの緊張感をリスペクトし、安定軌道に導いて差し上げることが主催者の責務だと思う。これさえブレなければ、豪華絢爛な舞台でなくとも、著名なスペシャリストを呼ばずとも、催しの価値は守られる。

#### 分岐点は初年度にあり

初めて人前に立つ高校生、父に見守られて弾き語る女兒、長いブランクを経てオリジナルを披露した男性、緊張で逃亡寸前の女性はソロギターでバッハを演奏……など、様々なタイプのビギナーがそれぞれの300秒に魂を込めたこの催しは、300秒に全力を投じたか否かを尺度にデザインされて



本気で頑張るビギナーを励ますと同時に、そのひたむきさによって、伸び代だらけなのに成長する気ゼロ病患者達を改心させることも必要

いるため、譜面台の用意がない（百歩譲って持参は許可）。数か月程度のビギナーが数十年選手に（感動値として）勝る場面も多く、その直向きさに涙する者さえ珍しくない。「面白かった」「刺激になった」「向上意欲が高まった」などのお声をいただいたので私個人的には採算が獲れている。無論「伸び代だらけなのに成長する気ゼロ病」患者たちが影響され改心する狙いも計算にあつての催しだ。

兎角ビギナーは上手な演奏に憧れ、己の不甲斐なさに打ちのめされもするが、そもそも多様な音楽の海を「上手い／下手」一本の定規で測ることに合理性がない。それで挫折問題が食い止められているのなら余計なお世話だが、ことビギナーを救う試みにおいて「上手い／下手」一辺倒の空気は、思考停止の産物のような気がしてならない。毎分毎秒ビギナーの過半数が挫折し続ける中、彼らの消費行動を養分とする我々業界人は、彼らの鬼門である初年度に何らかのインパクトを施せているだろうか。消費量のみで物事をジャッジしていいのだろうか。SNSでも店頭でも会場でも道端でも何でもい。本気で頑張るビギナーを積極的に励ます行為はノーコストだ。くだいようだがビギナーの運命を左右する分岐点は初年度にある。嘘のない拍手を浴びたビギナーは強い。